

口蹄疫疫学調査チーム 第6回検討会概要 (平成22年10月12日開催)

1 疫学調査の進捗状況について

「口蹄疫の疫学調査に係る中間的整理」の公表（8月25日）後に、現地調査や関係者等の聞き取り調査によって得られた疫学データに基づき、口蹄疫ウイルスの侵入経路及び伝播経路について議論した。主な内容は以下のとおり。

- (1) ごく初期の川南町における発生事例においては、近隣の農場間で人の交流があったことや、複数の農場間で同一の獣医師・人工授精師・削蹄師等が作業していたことなどが確認されており、これらの人の動きが感染拡大の原因となった可能性があるとされた。

- (2) 高いバイオセキュリティレベルを保つための設備を持つ10例目農場については、口蹄疫が発生する4月20日以前は、
 - ① 車両に関する消毒は、畜産関係車両に限っていたこと、
 - ② 豚飼養エリアへ入場する際のシャワーの義務付けは部外者だけであったこと、
 - ③ 豚を移動する際には舎外を歩行させていたこと、等が改めて確認された。

2 今後のスケジュール

今後は、本日の検討結果を踏まえて、「口蹄疫の疫学調査に係る中間取りまとめ（仮称）」の作成及び公表に向けて、引き続き作業を進めることとされた。